

おあしす

2017年8月ジブチ



大バラ沙漠南側のウォーターハーベストにより造成された緑地（ドローンによる撮影：11.21953N, 42.62743E）



2017年8月15日夕方、ジブチシティから西50km付近で降雨を観測（左上写真）、ワジ支流にはすぐに流出水発生（右上写真）、ワジ本流（アンブリ・ワジ）にも流水（左下写真）、次の日（8/16）朝にはジブチシティまで水は到着していた（右下写真）。

（写真提供：鈴木伸治・島田沢彦）

2017 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い（再掲）

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 吉川 賢
学会賞審査委員会委員長 豊田裕道

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞、学術論文賞、進歩賞、奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的、実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は、原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお、35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には、その理由書を添付する。

2. 推薦期限 2018 年 2 月 28 日（水）当日消印有効

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお、推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合
様式 1 の推薦書 1 部
推薦に関する資料 1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合
様式 2 の推薦書 1 部
推薦に関する業績 1 組

4. 宛先（照会先）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学 文学部日本・ユーラシア文化コース気付
日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 渡邊三津子
TEL/FAX : 043-290-2327 E-mail: watanabe.m415@gmail.com

5. その他

応募された書類は返却しませんので、必要な場合は写しを保管下さい。

なお、過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ (<http://www.jaals.net/>) をご参照下さい。

様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用)

平成 年 月 日

日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年 年 月 日
住所・電話：
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど
著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

記入上の注意

- 1) 書 式 A4 縦置横書き，明朝体 12 ポイント，上下左右マージン 2.0cm 以上，1 行文字数 35 ～ 40 字，1 ページ行数 35 ～ 40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 簡条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。
簡条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー可）を添付して下さい。

学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 豊田 裕道
渡邊 三津子

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

**日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん
全員にチャンスがあります！**

**学術大会で発表した人は、ぜひ
沙漠研究に論文を投稿しましょう！**

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

Desert Technology XIII & The 3rd International Conference on Arid Land 開催のお知らせ (第二報)

第3回沙漠国際会議／第13回国際沙漠技術会議

DT 13/ICAL 3 Pondicherry, India

【開催場所】 インド・ポンディシェリ (旧フランス領 Puducherry 内の海岸町)

：インド第四の都市チェンナイ (旧マドラス) から会議バスで移動

【開催日程】 2018年3月12日 (月) ～ 16日 (金)

標記会議につきましては、12月15日をもって、発表申込 (要旨送付) および会議場ホテルの事前予約を締め切らせていただきました。日本からも多数の申込を頂き、大変感謝しております。なお、参加を予定していながら、まだ参加申し込みをされていない方は下記ウェブサイトをご参照いただきご相談ください。

【会議日程 (予定)】

Monday March 12, 2018

0800 - 1000 HRS: Registration

1000 - 1600 HRS: Conference tour and lunch

1600 - 1900 HRS: Transfer to Pondichery

1930 - 2100 HRS: Welcome Dinner

1100 - 1300 HRS: Technical Sessions

1300 - 1400 HRS: Working Lunch

1400 - 1600 HRS: Technical Sessions

1600 - 1620 HRS: Tea Break

1620 - 1830 HRS: Technical Sessions

1900 HRS – Conference Gala Dinner

Tuesday March 13, 2018

0900 - 1000 HRS: Registration

1000 - 1100 HRS: Inauguration and high tea

1100 - 1300 HRS: Plenary lectures

1300 - 1400 HRS: Working Lunch

1400 - 1600 HRS: Technical Sessions

1600 - 1620 HRS: Tea Break

1620 - 1830 HRS: Technical Sessions

1900 HRS – Meeting & dinner of DT/ICAL

Committee members Dinner yourself

Thursday March 15, 2018

0900 - 1100 HRS: Technical Sessions

1100 - 1300 HRS: Technical Sessions

1300 - 1400 HRS: Working Lunch

1400 - onwards: Free time Dinner yourself

Friday March 16, 2018

0900 - 1100 HRS: Technical Sessions

1100 - 1300 HRS: Technical Sessions

1300 - 1400 HRS: Working Lunch

1400 - 1600 HRS: Closing Sessions

1630 HRS – Departure to Chennai

Wednesday March 14, 2018

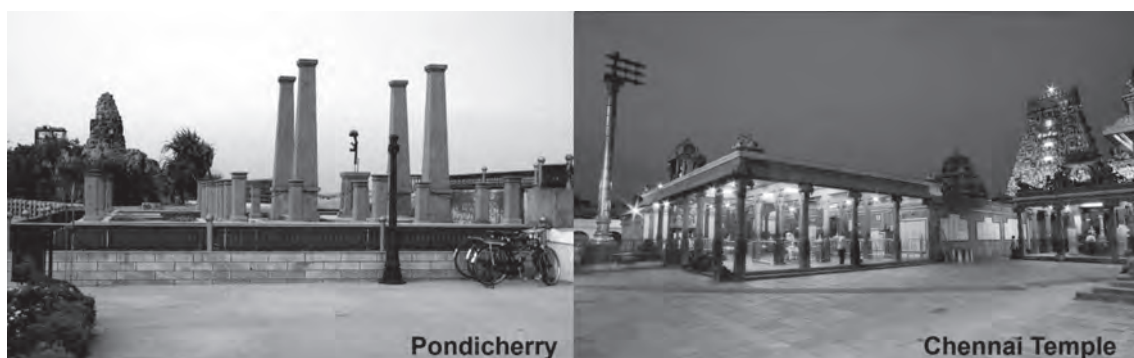
0800 - 0900 HRS: Registration

0900 - 1100 HRS: Technical Sessions

詳しくは以下を参照ください。

【本学会ウェブサイト】 <https://www.jaals.net/>

【DT XIII/ICAL3 ウェブサイト】 www.dt13.in



Pondicherry

Chennai Temple

日本沙漠学会 2018 年 第 29 回学術大会開催のお知らせ

1. 大会概要

日時：2018 年 5 月 26 日（土）～ 27 日（日）

場所：石巻専修大学

〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

アクセス <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/access.html>

2. 研究発表申し込み

発表申し込み締め切り：2018 年 2 月 24 日（土）必着

発表形式は口頭もしくはポスターのいずれかとします。なお、申込者数・会場スペースの都合により、調整させていただく事がありますので、あらかじめご了承ください。口頭発表は、プロジェクターによる PC ファイル（PDF、ppt 等）での発表となります。

申し込みは、締め切り日までに E-mail または郵送（期日必着）で、以下の様式にそって必要事項を記入の上、実行委員会事務局へお送りください。申し込まれた方には、講演要旨の様式・発表時間等をお知らせします。

発表要旨締め切り：2018 年 3 月 24 日（土）必着

3. 参加申し込み

参加申し込み締め切り：2018 年 5 月 13 日（日）必着（エクスカーション参加申し込みを含む）

3 月発行予定の学会誌（27 巻 4 号）同封のがきにて、会員の方すべてがご回答ください。ご欠席の場合でも総会成立のためには委任状が必要となります。またご出席の場合には事前登録扱いになり参加費が割引になります。

4. 公開シンポジウム

「明日に架ける橋 ～被災地からの情報発信～」

2018 年 5 月 26 日（土）、午後、会場：石巻専修大学

講演題目

太田尚志氏（石巻専修大学工学部）：海の砂漠に陸の砂漠がもたらすもの

益満 環氏（石巻専修大学経営学部）：オープンデータを活用した地域活性化の取り組み

山内武巳氏（石巻専修大学人間学部）：特殊環境下のヒトの生体応答

石川春樹氏（IITA ナイジェリア研究員）：サブサハラの農業事情

5. エクスカーション

（株）デ・リーフデ北上、施設見学 <http://de-liefde.co.jp/>

（農林水産省 次世代施設園芸導入加速化支援事業 宮城県拠点）

2018 年 5 月 27 日（日）、午後（移動を含めて 2 時間半程度）

* 事前申し込み（定員 40 名）と参加費 500 円（防菌対策費、当日徴収）が必要

6. 問い合わせ・研究発表申し込み先

第 29 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地

石巻専修大学工学部生物科学科 依田 清胤

TEL：0225-22-7713（内線 3147） E-mail：jaals2018@isenshu-u.ac.jp

[委員長] 依田清胤（石巻専修大学）

詳細はホームページ <https://www.jaals.net/> をご覧ください。

----- 研究発表申し込み様式 (下記の項目に従ってご記入下さい) -----

1. 発表種別：(口頭 or ポスター)
2. 題目 (和文)：
3. 題目 (英文)：
4. 発表者氏名： ※なお、登壇者は2017年度学会員であることを要します。
5. 発表者所属：
6. 概 要：(和文200字)
7. 連絡先：(氏名、住所及びTEL/FAX番号、E-mailアドレス等連絡方法)
8. ポスター発表の希望者で、発表者が下記ベストポスター賞の対象者としての条件を満たす場合は、審査の対象分野(理系 or 複合系)を記載してください。

日本沙漠学会 2018 年 第 29 回学術大会におけるベストポスター賞について

日本沙漠学会では、学術大会においてポスター発表をする若手会員を対象に、内規第11条に基づいてベストポスター賞を設けています。若手会員は、ぜひチャレンジしてください。なおベストポスター賞の受賞式は、学術大会の期間中に開催される懇親会にて執り行う予定です。

第11条 学術大会ベストポスター賞に関する内規(抜粋)

- (2) 受賞候補者は原則として、当該年度において満35歳以下の発表者とし学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の者などとする。なお受賞候補者は、会員で、かつポスターの説明者とし、第一著者でなくてもよい。さらに、当該年度において36歳以上の会員が受賞候補者としての選考を希望する場合には、その理由書を学会賞審査委員会(以下、審査委員会)(幹事)宛に郵送してなければならない。
- (3) 対象分野
本賞の対象分野は理系、複合系からそれぞれ1件を選出する。選考対象の発表がない場合は該当なしとする。なお、受賞候補該当者は、発表申込時に、どの系での審査を希望するか明記することとする。
- (4) 審査方法
・採点者は、以下の2項目について採点する。
 - a. 研究内容(目的・意義、研究方法、結果・考察、成果、発展性など)
 - b. ポスター表現とポスターを用いての説明技術、熱意など

問い合わせ先：

日本沙漠学会 総務委員/学会賞審査委員 E-mail : jaals@kyouritsu-online.co.jp

学会記事

日本沙漠学会第 132 回理事会 議事録

日時：2017 年 10 月 28 日（土）10:00～12:00

場所：筑波大学東京キャンパス文教校舎（東京都文京区）

出席：吉川 賢（会長）、渡邊文雄、森尾貴広（以上、副会長）、窪田順平、小島紀徳、小長谷有紀、酒井裕司、島田沢彦、鈴木伸治、高橋新平、豊田裕道、中村 徹、渡邊三津子（以上、理事）、安部征雄、岩本 彰（以上顧問）、川端良子（編集委員）、依田清胤（2018 年度第 29 回学術大会実行委員長）、的場泰信、齋藤哲治（以上、オブザーバー）

委任状：矢沢勇樹、田中 徹（以上、監事）

I. 審議事項

1. 「おあしす」の内容確認
 - ・島田総務担当理事より原稿が提示され、内容の確認を行った。
2. 30 周年記念大会に向けた取り組み
 - ・吉川会長より趣旨説明が行われた後、議論した。
 - ・「沙漠の事典」の改訂や、学会 HP を活用したレビューの掲載などの意見があった。これらの意見を参考に、取り組みを具体化していく。
3. 細則の改定について
 - ・鈴木総務委員長より以下の 3 点について改定案が示され、審議の結果、承認された。
 - ・第 19 条「理事の主たる会務分担」の総務 (5)「研究助成等に関する事項」を、財務の分担に変更する。第 20 条文末に、「顧問は理事会・評議員会・総会において必要に応じて助言を行う。」を追加する。第 36 条の事務局所在を「株式会社共立内におく」と変更する。
 - ・次回（第 31 回）評議員会（4/14）にて審議し、承認された場合は 2018 年度総会（5/26）にて報告する。
4. 今後の学術大会・秋季シンポジウムの日程と開催地について
 - ・2018 年度第 29 回学術大会は石巻専修大学にて開催（5/26～5/27）。
 - ・2018 年秋季シンポジウムは鹿児島大学にて開催予定。企画担当理事より志水会員（鹿児島大学）に確認を行う。
 - ・2019 年度第 30 回学術大会については東京農業大学、2019 年秋季シンポジウムについては総合地球環境学研究所、2020 年度第 31 回学術大会については岡山大学が挙げられた。
 - ・DT/ICAL をそろそろ日本で開催してはどうかと

いう意見があった。

II. 報告事項

1. 2018 年度第 29 回学術大会（5/26～5/27、石巻専修大学）進捗状況報告
 - ・依田実行委員長より各種申込日の締切について報告があった。申込締切日：2/24 必着、要旨締切日：3/24 必着、参加申込日：5/13 必着。
 - ・公開シンポジウムの演者の 1 人である石川春樹氏が所属する IITA に講演依頼を出すこととした。
 - ・見学先施設の準備があるため、エクスカージョンの申込は特に厳守して頂きたい（参加定員 40 名）。
 - ・大会前日の 5/25 に拡大編集委員会を行う。
 - ・上記を含む最新状況をおあしす及び学会 HP へ掲載する。
2. 国際会議開催に関する検討委員会より
 - ・渡邊副会長より 9/8 に開催した第 1 回検討委員会の報告がなされた。
 - ・今後、学会活動の一部として正式に位置づけを行うこととする。それにあたり会則・細則・内規の変更を委員会内で検討中である。
3. 学会 HP の充実化について
 - ・当学会からの「乾燥・半乾燥地」について積極的な情報提供が求められていることから、島田総務担当理事より趣旨と進捗について報告があった。
 - ・取り組みの 1 つとして、「沙漠の事典」の内容を学会 HP へ使用できないか、版元の丸善出版と協議を行ったところ、図版に対してのみ、使用が許可された。今後、図版を「図解用語集」などとして、学会 HP 掲載への検討を続ける。
4. 学会を受け皿とした共同研究等の促進について
 - ・学会の活性化に資することを目的に、受託研究・共同研究実施の契約等に関する手続案が高橋財務委員長より示された。
 - ・手続きの整備に合わせ、どのように研究助成を得るかを検討することも重要との意見があり、経験や情報のある会員を対象に、共同・受委託を調整する役職を依頼してはいかかとの意見があった。
 - ・研究倫理についても整備すべきとの意見があった。今後、引き続き検討を行う。
5. 投稿論文審査状況報告
 - ・酒井編集委員長より、アクセプト済み論文 2 報、審査中論文 1 報、これらと合わせ、学会誌 27-3 には沙漠工学分科会の小特集が掲載予定である旨、報告された。

- ・編集と印刷等の業務委託に関する検討について進捗が報告された。次回（第133回理事会）で審議する。
 - ・J-STAGEのアクセス（とくに海外から）が増えていること、およびSCOPUSへの登録を目指し、論文の質を上げる取り組みを行っていることが報告された。
 - ・DTXIII・ICAL3のプロシーディングスの作業量について確認する。
6. 学会会員数減少への対策検討委員会より
- ・森尾副会長より、会員数の推移及び入退会者の推移について報告がされた。
 - ・退会者の所属や理由について整理する必要があるため、確認の方法等について検討していく。
7. DTXIII・ICAL3 (3/12～3/16) の進捗
- ・小島理事より、現地の準備の進捗が報告された。
 - ・詳細がわかり次第 HP に掲載していく。
- Ⅲ. その他
- ・乾燥地農学分科会の講演会が11/7に行われる。会場は東京大学農学部フードサイエンス棟中島薫一郎記念ホール。
 - ・第17回地球惑星科学連合学協会長会議（10/12）について吉川会長より報告があった。活動への具体的な参加について、今後検討してはいかがかとの意見があった。
 - ・第25回「風工学シンポジウム」（12/3～12/5）への協賛が確認された。
 - ・第133回理事会：1月6日（土）、15:00～、会場は12月上旬決定。第134回理事会および第31回評議員会：4月14日（土）、第135回理事会：5月26日（土）、石巻専修大学。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

正会員

山中 典和 (ID: 1112, 鳥取大学 乾燥地研究センター)
佐藤 孝宏 (ID: 1113, 弘前大学 農学生命科学部 国際園芸農学科)

●退会会員

正会員

梅村 坦
松本 聡

~~~~~ 賛助会員・団体会員名簿 ~~~~~

|                     |          |                 |                    |
|---------------------|----------|-----------------|--------------------|
| アースアンドヒューマンコーポレーション | 194-0041 | 町田市玉川学園 8-3-23  | Tel : 042-710-7661 |
| 株式会社ウイジン            | 158-0097 | 世田谷区用賀 2-12-14  | Tel : 03-3700-0531 |
| NTC インターナショナル株式会社   | 164-8721 | 東京都中野区本町 1-32-2 | Tel : 03-5354-3621 |
| 株式会社大林組技術研究所        | 204-8558 | 清瀬市下清戸 4-640    | Tel : 0424-95-1060 |

~~~~~

